

## 第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	2	施策名	多様な学びを支援する社会教育の充実	教育総務課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
<p>体験活動等を通して、心と体のバランスがとれた「きりしまっ子」を育成し、子ども達が夢や目標を持つ心を育むとともに、地域ぐるみで青少年を育成する気運を醸成し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。</p> <p>また、市民の学習環境の充実に努めるとともに、地域の課題に対する学びとそれを実践する「循環」の仕組みづくりや支援に努めます。</p> <p>さらに、市民が文化財を学び知る機会を積極的に設け、郷土づくりの意識や自発的な保存活動の高揚を促進します。</p>					市民活動推進課、社会教育課、国分図書館、メディアセンター					
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)			後期計画における課題							
<p>■きりしまっ子立志育成事業での自然の豊かさや厳しさ、体験活動を通じて、児童生徒に協調性が育まれた。</p> <p>■「地域学校協働活動」の周知広報や地域や学校によるボランティア要望の掘り起こしにより、地域の教育力の向上が図られた。</p> <p>■公民館定期講座の内容等を検討して新規講座を開設し、より多様な学習ニーズに対応できた。</p> <p>■移動図書館の巡回場所見直しにより、より広い地域に読書の機会を届けることができた。新たな機器の導入や全図書館・室でのインターネット予約の開始等により、図書館・室の利便性が向上し、利用が増加した。</p> <p>■メディアセンターのサービスや設備の更新等を図る整備方針や整備計画を策定し、適切に管理する環境が整備された。</p> <p>■インターネット接続設定変更(光ブロードバンド)を14校行い、市内全ての学校の光ブロードバンド化整備が完了した。</p> <p>■指定文化財の修復・整備を行い、保存継承や見学環境の整備に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、各種啓発事業や郷土館等での特別展開催などにより、市民が文化財を学び知る機会を提供できた。</p>			<p>■児童生徒各々が夢や目標を持つ心を育めるように、郷土愛や協調性、労働の素晴らしさを学べる異年齢間の体験活動や将来の仕事に繋がる職業体験を取り入れる必要がある。</p> <p>■コロナ禍によって希薄化した地域の絆を取り戻し、地域に合った活動を見つめ直すことで、地域の教育力向上に努める必要がある。</p> <p>■幅広い年代のニーズに応じた講座の実施や機材の整備が必要である。</p> <p>■提供できる図書資料やサービスについて地域間格差が生じている。</p> <p>■市民からの要望も多いことから、図書資料やレファレンスサービスをより充実させる必要がある。</p> <p>■メディアセンターの施設・設備、様々な学習会に活用するための視聴覚ライブラリーを充実させる必要がある。</p> <p>■GIGAスクール構想に基づいた1人1台端末の活用方法の共有化が必要である。</p> <p>■コロナ禍による対面での活動減少の影響もあり、ますます危惧される文化財・民俗芸能などの保存・継承の促進が課題である。</p>							
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上)      △目標を未達成(100%未満)							達成率 結果	
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		2022年度
A	青少年の他人に迷惑をかけるという行動が2,3年前と比べて減ったと考える市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	17.5	19.0	20.5	22.0	23.5	63.0%
				実績値	-	-	-	-	14.7	△
B	学習している市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	89.0%
				実績値	-	-	-	-	50.9	△
C	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	60.5	61.0	61.5	62.0	62.5	72.0%
				実績値	53.4	57.6	51.1	49.3	44.8	△
D	公民館定期講座申込者に占める新規申込者の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	65.0	68.0	71.0	74.0	77.0	103.0%
				実績値	68.7	69.7	59.7	72.0	79.0	◎
E	過去1年間の文化財保存・伝承活動の実践者及び参加者の人数	人	更なる増加を目指します	目標値	11,100	11,200	11,300	11,400	11,500	71.0%
				実績値	10,640	9,425	3,971	5,299	8,111	△
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果			後期計画における課題			
①きりしまっ子の豊かな心を育む体験・交流活動の充実	<p>■きりしまっ子立志育成事業で霧島の豊かな自然や歴史・文化を学び、郷土愛を醸成するとともに、異年齢集団による宿泊体験活動を行うことによる自律性・協調性の育成に取り組んだ。</p> <p>■災害時を想定した生活体験を通じ、防災意識の向上と災害時等に必要知識・技能の育成に取り組んだ。</p>			<p>■立志育成事業は、コロナ禍により2020～21年度の一部事業が縮小・廃止となったが、参加した児童生徒は自然の豊かさや厳しさに接する体験活動を通して、仲間作りなどの協調性が育まれた。</p> <p>■きりしまっ子立志10年カレンダーは、一定の目標を達成したため、市HPでの紹介にとどめることとした。</p>			<p>■児童生徒各々が夢や目標を持つ心を育めるように、郷土愛や協調性、労働の素晴らしさを学べる異年齢間の体験活動や将来の仕事に繋がる職業体験を取り入れる必要がある。</p>			
②家庭教育の充実と地域全体での見守りを通じた青少年の健全育成	<p>■家庭教育学級活動を支援し、あるべき保護者の姿の啓発や家庭の教育力向上を図った。</p> <p>■地域と学校が連携・協働する「地域学校協働活動」の周知広報やボランティア要望の掘り起こしを地域や学校で行った。</p> <p>■青少年育成指導員・補導員による街頭補導や教育相談の実施、青少年育成センター通信の発行を行った。</p>			<p>■家庭教育学級活動の支援や地域学校協働活動の推進により、家庭や地域の教育力向上が図られた。</p> <p>■街頭補導や教育相談、広報活動により、青少年の問題行動等の未然防止が図られた。</p>			<p>■地域学校協働活動の推進により、地域全体で青少年の健全育成に努める。</p> <p>■コロナ禍によって希薄化した地域の絆を取り戻し、地域に合った活動を見つめ直すことで、地域の教育力向上に努める。</p> <p>■青少年育成センターを中心に、関係機関との連携を図り、相談体制を充実させるなど多様な課題に対応できるような体制をつくる。</p>			

基本事業	5年間の取組内容	5年間の取組成果	後期計画における課題
③自ら学び、高め合う体制づくりと学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公民館では、老朽化が進む建物等の工事や修繕等を行い、定期講座の内容等を充実するため、新規講座を開設した。</li> <li>■図書館では、ブックスタート活動や学校・ボランティア等との連携・協力によるおはなし会等を実施。移動図書館の巡回場所を見直し、新たな機器の導入や全図書館・室でのインターネット予約の開始等を行った。</li> <li>■市メディアセンター整備方針、市メディアセンター整備計画を策定し、庁内の意識の共有が図られた。県視聴覚ライブラリーと連携を図り、教材貸出を充実させた。</li> <li>■インターネット接続設定変更(光ブロードバンド)を14校行い、市内全ての学校の光ブロードバンド整備が完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民が安心安全に学習できる公民館の環境整備ができた。新規講座の開設で、より多様な学習ニーズに対応できた。</li> <li>■図書館・室の各取組により、子どもや図書館に頻繁に立ち寄れない人々が本に親しむ機会を広げることができた。全図書館・室でのインターネット予約の開始等により、図書館・室の利便性が向上し、利用が増加した。</li> <li>■メディアセンターの施設・設備を適切に管理するための環境を整えられた。県との連携により、市民や学校のニーズに応じた教材の貸出しができた。</li> <li>■全校光ブロードバンド化により、児童生徒の学習環境を向上することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民がより安心・安全・快適に学習できるような公民館の環境維持・整備や講座内容等の充実が必要。</li> <li>■乳幼児期から読書習慣が身に付くよう、関係機関等と連携した読書運動・活動を推進する。</li> <li>■図書館のシステム統合や広報により、地域・個人間の教育環境の公平化を図り、要望が多いレファレンスサービスをより充実させる必要がある。</li> <li>■GIGAスクール構想に基づいた1人1台端末活用方法の共有化が必要。</li> </ul>
④ふるさと愛の高揚へつなげる文化財の保存・継承と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化財の見学環境整備や、国指定「大隅国分寺跡」石塔の保存処理、県指定(当時)「鹿児島神宮本殿」壁画の修復などの保存処理・修復を実施した。</li> <li>■各啓発事業や、見学会、郷土館等での特別展などの開催、案内看板や標柱等の設置による広報などを行った。</li> <li>■収蔵施設の移管や先進地視察による情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化財の保存・整備が進み、文化財の周知・啓発が図られた。</li> <li>■郷土館・歴史民俗資料館の整理統合に向けた準備を進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国宝・重要文化財に指定された「霧島神宮」「鹿児島神宮」社殿の防火・防災整備や文化財保存・伝承活動の促進が必要。</li> <li>■講座や各種体験活動を通じて市民の郷土愛醸成・文化財愛護意識の向上を図る。文化財と周辺環境整備を実施する。</li> <li>■施設の充実を図るため、郷土館等の整理統合を推進する必要がある。</li> </ul>